

令和 7 年度原子力防災訓練の概要

1 目的

- (1) 原子力災害発生時における関係機関の防災体制や相互連携に係る実効性の確認
- (2) 各種計画やマニュアル等に基づく手順の確認
- (3) 関係機関やその要員における原子力防災技術の向上
- (4) 女川地域の緊急時対応を検証し、訓練結果を踏まえた教訓事項の抽出・改善

2 実施日

- (1) 図上訓練：令和 7 年 1 月 11 日（火）
- (2) 住民避難訓練：令和 7 年 1 月 15 日（土）
令和 8 年 1 月 24 日（土）【石巻市 UPZ 一時移転訓練のみ】

3 主催

宮城県、女川町、石巻市、登米市、東松島市、涌谷町、美里町、南三陸町

4 住民参加人数・参加機関（予定）

- (1) 住民参加人数 約 250 人
- (2) 参加機関 国、自衛隊、警察本部、仙台市、栗原市、大崎市、加美町、色麻町 等
約 80 機関・約 650 人（主催自治体含む）

5 訓練項目

県・市町災害対策本部運営訓練、県現地災害対策本部運営訓練、オフサイトセンター運営訓練、緊急時通信連絡訓練、住民避難等訓練、緊急時モニタリング訓練、広報訓練、原子力災害医療活動訓練、交通対策等措置訓練、原子力災害避難支援アプリ運用訓練

6 重点事項

- (1) 原子力災害の事態進展に対応した災害対策本部の運営体制の確認
施設敷地緊急事態及び全面緊急事態（OIL 2 確定後）を含む事態進展を想定した訓練を実施し、複合災害に係る被害状況の把握・情報共有、応急対策の検討・調整手順を確認する。
- (2) 防護措置の対応方針の協議及び応急対策実施の手順確認
オフサイトセンターにおいて、関係機関との連携による防護措置の検討・調整等を行い、原子力災害合同対策協議会を通じて必要な情報共有、応急対策を実施する手順を確認する。
- (3) 「女川地域の緊急時対応」等に基づく防護措置の手順確認・検証
「女川地域の緊急時対応」に取りまとめられた避難計画等に基づく避難及び一時移転等の防護措置について、実施手順の確認や検証を行う。
- (4) 原子力防災に関する住民の理解促進
屋内退避・避難等の防護措置の実践のほか、住民のニーズに合わせた学習会の開催等により、原子力防災の重要性や防護措置の手順について、住民理解の促進を図る。

7 訓練の主な内容

(1) 図上訓練

- ①PAZ 住民避難に係る調整（午前：放射性物質放出前の想定）
- ②UPZ 住民一時移転に係る調整（午後：放射性物質放出後の想定）
- ③オフサイトセンターと関係市町の TV 会議を活用した情報共有

(2) 住民避難訓練

- ①アプリの機能を活用した住民避難の実施
- ②改善工事を行った避難退域時検査場所のレイアウト検証
- ③孤立地域を想定したヘリコプターによる空路避難の実施
- ④孤立地域への物資供給を想定したドローンのデモフライト

8 想定

三陸沖を震源とした地震が発生し、女川町及び石巻市で震度 6 強を観測。直後の大津波警報発令に伴い、女川原子力発電所 2 号機が緊急停止。その後、機器故障によって原子炉注水機能を喪失、炉心損傷に至り、放射性物質が放出され、一時移転が必要な空間放射線量率の上昇が認められる地点が生じる状況になった。

令和7年度原子弹防災訓練マップ(2/2) 空路避難・交通対策等措置訓練

※取材・参観についてには、駐車場所がないなど、できませんので、恐れ入りますが取材・参観をお遠慮願います。

【取材・参観可能】 11:00~12:30

物資供給訓練
ドローン



第6師団
NBC偵察車(化学防護車)



(豊米：避難所)
中田農村環境改善センター
・化学校支所付近交差点
・ドローンによる物資供給訓練
11:00~12:30
12:10~12:30

第4航空団(陸路)

河南中学校
09:40発
鹿島台中央野球場
10:00着
10:10発
スコーレハウス
[岩出山文化会館] 11:30着

スコーレバス
[岩出山文化会館]
(避難所)

第4航空団(陸路)

河南中学校
09:40発
鹿島台中央野球場
10:00着
10:10発
スコーレハウス
[岩出山文化会館] 11:30着

交通規制対策(県警)
河南総合支所付近交差点



松島救援隊
ヘリコプター(空自UH-60J)



住民搬送
旧大須小学校
河南西中学校
09:15発
09:30着

【撮影可能】
9:30~9:40
(9:30[ヘリ到着])
河南京西中学校

(石巻、真松島、美里：
避難退避検査場所)
大崎市鹿島台中央野球場

交通広報対策(県警)



交通広報対策(県警)



小型文字情報板



牧山道路東西方向信号協



旧大須小学校
(屋内退避)

小屋取地区放射線防護対
策施設
(屋内退避)

旧江島自然活動センター
(屋内退避)

女川原子力発電所
(屋内退避)

船舶(海保しまかぜ)
海上広報
鶴川港沖
(屋内退避)

社鹿保健福祉センター－ 清風館
石巻市立社鹿病院
(屋内退避)

特別養護老人ホーム
おしか清心苑
(屋内退避)

網地島開発総合センター
網小医院
(屋内退避)

○ 放射線防護対策施設等
※施設毎のタイミングで
屋内退避訓練を行います。

11月11日実施分 図上訓練タイムライン（県・市町災害対策本部運営訓練／オフサイトセンター運営訓練）

11月11日実施分 図上訓練タイムライン（県・市町災害対策本部運営訓練／オフサイトセンター運営訓練）

想定日時	区分	主な事象	備考
11月10日	警戒事態 (A-L)	【想定】宮城県沖を震源とする地震発生	最大震度6強
		【想定】宮城県に大津波警報	
		【想定】女川原発2号機 警戒事態該当	原子炉給水機能の喪失
	PAZ住民 (SE)要避難者）避難に係る調整 ↓ 施設敷地緊急事態 (S-E)	【想定】PAZ住民 (SE要避難者) 避難に係る調整	
		【想定】女川原発2号機 原災法第10条事象認定	
		【想定】津波注意報解除	残留熱除去機能の喪失
11月11日	9:00 ↓ PAZ住民避難に係る調整	訓練開始 <11月11日_9:00>	
9:00 ↓ 全面緊急事態の認定 PAZ住民避難・UPZ住民屋内退避指示 原子力災害合同対策協議会・全体会議 宮城県災害対策本部会議 【スキップ】女川原発2号機 炉心損傷 【スキップ】女川原発2号機 格納容器フィルタベント実施 【スキップ】OIL2該当地区の特定 UPZ住民の一時移転に係る調整 原子力災害合同対策協議会・全体会議 訓練終了 <11月11日_15:30>	女川原発2号機 原災法第15条事象発生	原子炉注水機能の喪失	
	10:30		
	10:35		
	10:40		
	11:00		
	11:30		
	15:00		
	11月13日 10:00		
	11月14日 13:00 ↓ 15:00		
	15:30		

※訓練タイムラインのうち主なものを抜粋しています。

※12:00～13:00は休憩時間となります。訓練再開時は<11月14日13:00>に72時間スキップする想定としています。

※訓練では、避難を必要とする事故を設定するために、通常では考えにくい原因により次々と装置が故障するといった内容を想定しています。

資料 2

令和 7 年度 福井県原子力総合防災訓練の実施について（抜粋）

5 原子力災害時の避難行動の周知



○屋内退避訓練

屋内退避等の指示を受け、自宅等において屋内退避行動を実施

屋内退避訓練実施予定者 約**6,000**人

屋内退避訓練の概要

- 自宅等建物の中に入る
- 窓・扉を閉め、換気扇等を止める
- TV放送や防災行政無線の放送等から情報を集める
- 避難に備え、非常時持出品（マイナンバーカード、保険証、常備薬等）を準備する

屋内退避訓練のポイントを避難元市町でCATVや新聞折込み等により周知



屋内避難訓練 参加方法

原子力発電所で事故が発生した場合、自宅など建物の中に入ることで、放射線の影響を回避したり、低減したりすることができます。

訓練に参加する前に、**緊急速報メール** の受信確認・登録を！(詳細は表面参照)

緊急時に災害情報を特定エリアへ一斉送信するサービスです。

実際に行う場合

屋内避難行動チェックリストを参考に、実際に行動してみましょう。



- 建物の中に入る
- 放射性物質の侵入を防ぐため、外気を遮断する
(玄関とすべての窓をしめる・換気扇を止める)
- 手洗い、うがいをする
- 情報収集する
- 食品はフタやラップをする
- 避難に備えて非常用持出品を準備する
(マイナンバーカード、保険証、常備薬など)
- 屋内避難に備える
(日頃から3日分の水・食料の備蓄を心がけてください)

スマホで行う場合



屋内避難に関する動画視聴とアンケートに答えることで
どこでも訓練に参加できます。

<https://forms.gle/75r5A7kDde6jVxib8>

◆ 詳細はこちらから！

当日行う方

1. 緊急速報メールを受ける
2. メールのリンクから
スマホ訓練フォームにアクセス
3. 動画の視聴・アンケートに答えて訓練完了！



当日忙しい方

1. 今すぐ上記のQR、URLから訓練に参加できます。
2. 動画の視聴・アンケートに答えて訓練完了！

協力：福井大学附属国際原子力工学研究所
公益財団法人福島イノベーション・コスト構想推進機構 東日本大震災・原子力災害伝承館

令和7年度

福井県原子力 総合防災訓練

Fukui Prefecture Nuclear Emergency Preparedness and Response Exercise

実施日 令和7年 10月25日 土



関西電力(株)美浜発電所を対象とした
原子力総合防災訓練を実施します。

訓練の概要をこちらから
動画で確認できます。
<https://vimeo.com/1123501320/00b8279fa>

① 住民避難訓練

あらかじめご案内させていただいた方は、各市町からの指示に従って訓練に参加してください。

訓練実施市町

- ・美浜町
- ・敦賀市
- ・若狭町
- ・小浜市
- ・南越前町
- ・越前市
- ・越前町

主な訓練内容

- ・県内外への住民避難
- ・避難退域時検査
- ・安定ヨウ素剤配布等



緊急事態の進展の状況は
こちらのQRからLINEの
「令和7年度福井県原子力総合防災訓練」を
友だち追加することでご覧いただけます。

② 屋内避難訓練

下記の対象地域にお住まいの方は、
屋内避難訓練にご協力ください。

対象地域

- ※美浜発電所から概ね5-30km圏内
- ・美浜町全地区(丹生地区、竹波地区、菅浜地区は5km圏内のため対象外)
 - ・敦賀市全地区(白木地区は5km圏内のため対象外)
 - ・若狭町全地区
 - ・小浜市全地区
 - ・南越前町全地区
 - ・越前市全地区
 - ・越前町全地区

日時

10月25日(土)午前8時30分～9時30分頃

防災行政無線、緊急速報メールなどによる各市町からの
屋内避難の指示に従って訓練に参加してください。



緊急速報メールに登録すると、
訓練当日に自治体から訓練情報が届きます。
訓練の参加方法は、裏面に記載しておりますので
ご覧ください。スマホからも参加できます。

※これは地震、大雨など災害時の情報を
リアルタイムで受け取るための設定です。

緊急速報メールの受信設定方法

キャリアごとの 緊急速報メール受信アプリ



※機種やキャリアにより
設定方法が異なる場合があります。

詳しくは「緊急速報メール(ご自身の機種や
キャリア)受信方法」等で検索してください。

受信設定方法

Androidの場合

- ①「設定」を開く
- ②「通知」を表示
- ③「緊急速報メール」を表示
- ④「緊急速報メールを許可」をオンにする



緊急速報メールの受信設定方法は、お使いの端末によって異なります。
訓練に関する問い合わせ先では対応いたしかねますのでご了承ください。

iOSの場合

- ①「設定」を開く
- ②「通知」または
「通知センター」を開く
- ③「緊急速報」をオンにする



訓練に関する
問い合わせ先

福井県危機管理課 TEL: 0776-20-0236
美浜町エネルギー政策課 TEL: 0770-32-6716
敦賀市危機管理対策課 TEL: 0770-22-8166
若狭町環境安全課 TEL: 0770-45-9126

小浜市防災防犯課 TEL: 0770-64-6006
南越前町総務課防災安全室 TEL: 0778-47-8016
越前市防災危機管理課 TEL: 0778-22-3081
越前町防災安全課 TEL: 0778-34-8721

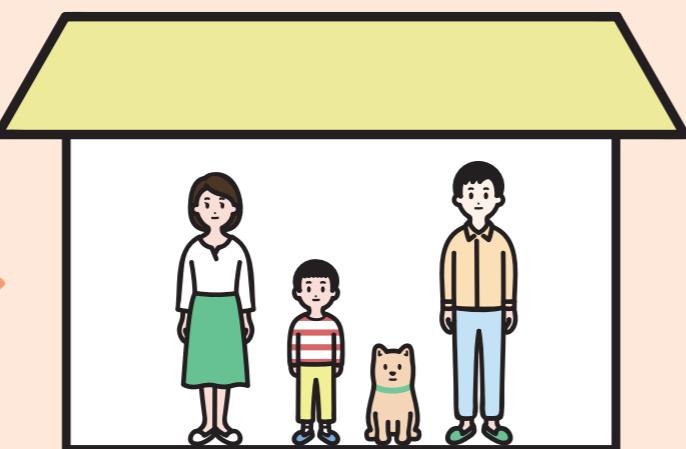
原子力発電所から おおむね

5~30km 圏内に

お住まいのみなさまが行う

屋内退避について

災害などにより原子力発電所の状態が悪化した場合は、無理な避難による無用な被ばく等のリスクを避けるため、行政の指示に従い、放射性物質の放出に備えて「屋内退避」を開始してください。



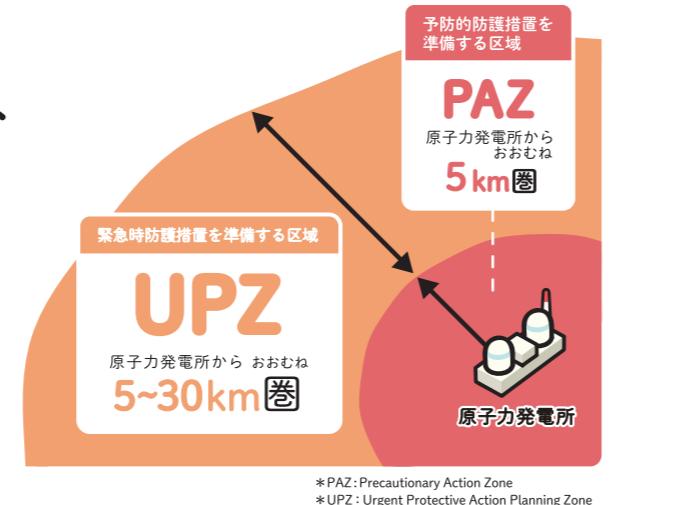
屋内退避をしたら…



戸締まりをする



換気設備を止める



*PAZ: Precautionary Action Zone
*UPZ: Urgent Protective Action Planning Zone

UPZ にお住まいの方の

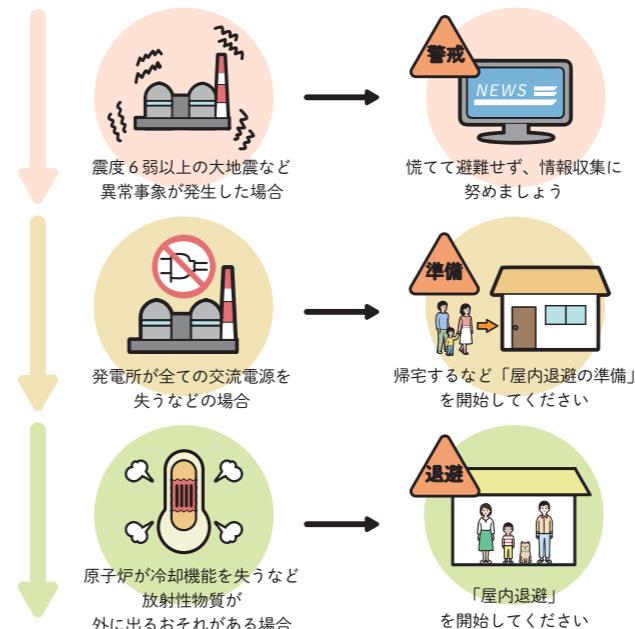
屋内退避



Q どんな状況で「屋内退避」を開始するの？

A 原子力発電所から放射性物質が漏れ出る
おそれのある緊急事態時に「屋内退避」
を開始することになります。

屋内退避の開始の際には行政からその指示があります。
ただし、津波等の自然災害に対する命を守る行動を優先してください。



Q 「屋内退避」をしたら、何をすればいいの？

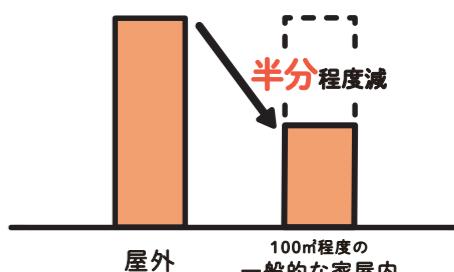
A ドアや窓を閉める、換気設備を止めるなど、以下のことを行ってください。



出典「原子力災害時の防護措置—放射線防護対策が講じられた施設等への屋内退避—」https://www8.cao.go.jp/genshiryoku_bousai/shiryou/shiryou.html

Q 「屋内退避」は、どのくらい被ばくが抑えられるの？

A 100m²程度の一般的な家屋内では建物の
気密性と遮へい効果により放射線の被ばく量は半分程度低減することがわかって
います。



(下記「出典」に基づく内閣府の試算による)

Q なぜすぐに避難しないの？

A 慌てて避難すると、避難渋滞に巻き込まれ渋滞中に被ばくしたり、体調が悪化するなど、様々な危険が伴います。また、万が一、放射性物質が放出され、お住まいに流れてきたとしても、屋内退避により被ばくを低減することができます。仮に一時移転等が必要となった場合*は、行政からお知らせしますので、それまでは行政の指示に従い屋内退避を続けてください。 *外の空間線量率が継続的に20μSv/hを超える場合屋内退避を続ける必要がなくなれば、行政からお知らせします。

参考

外の空間線量率が20μSv/h程度である地域に留まり続けたとしても、追加で受けた被ばく線量は初めの年でも自然放射線による年間の被ばく線量と同程度*に過ぎません（その後、線量はさらに下がっていきます）。そのため、行政の指示に従って落ち着いて行動しましょう。

*物理的な減衰、雨水、風等の自然要因による拡散減衰等によるもの。

(下記「出典」より)